

線形代数 II (担当: 松下勝義)

目標:

行列の応用としてベクトル空間の線形変換を理解する

1. ベクトル空間を理解できること
2. 線形変換を理解できること
3. 固有値と固有ベクトルを計算できること
4. 行列の対角化ができること

ベクトル空間, 線形変換と行列の対角化の重要性:

ベクトル空間, 線形変換, 行列の対角化は理系分野の基礎である.

例: コンピュータグラフィック, 統計モデリング, データ解析, 材料, 建築物の力学解析, 流体の運動解析, 物質の電子状態計算 etc ...

成績の配分:

出席+レポート+中間テスト(40%程度)

期末テスト(60%程度)

レポート:

1. レポート課題や授業ノートは以下の web サイトから DL できる.

<http://www.cp.cmc.osaka-u.ac.jp/~kmatsu/index.php?Linear-algebra-II>

2. 授業で指定した番号のレポートを行う事.
3. 次回の授業開始前に提出する事, 同時に解答例を配布する.



注意事項:

1. 教科書は買う事. 講義, レポートは教科書を前提とする.
2. 線形代数 I を落とした人は後期の線形代数 I を履修すること.
3. 質問に関してはシラバスのオフィスアワーにある教員も対応する
<https://mypage.osakac.ac.jp/syllabus/browse/openIndex/2019/n20280108>
質問用のメールアドレス([at mark]は@に変える)
kmatsu.odmath[at mark]gmail.com